



第21回女性全国大会 in 仙台レポート

大会テーマ

扉をあけて輝く時代へ

開催日 2024年(令和6年)9月15日(日)、16日(月・祝)

会場 宮城県仙台市・江陽グランドホテル

2024年(令和6年)9月15日(日)、第21回女性全国大会 in 仙台が「扉をあけて輝く時代へ」をテーマに、宮城県仙台市の江陽グランドホテルで開催されました。

コロナ禍により、約3年前の第20回女性全国大会 in 金沢はオンライン配信による開催となりましたが、7年ぶりの対面での本大会に女性の会員だけでなく男性の会員も10%を超え、関係者を含めて総勢398名が会場に参集しました。

ホテル1階の受付では各合同支部の女性委員長が中心となって、全国から続々と集まって来た会員をお出迎え。5階の会場・鳳凰の間では、開始前から久しぶりの仲間との再会に話の花が咲き、早くも女性全国大会らしい華やかさが広がりました。

江陽グランドホテルは、まるで美術館と思えるほどホール、壁、廊下に所狭しと美術品が展示され、シャンデリアから壁の意匠まで特別な装いの大広間に着席した参加者は、思わずワクワクする気持ちになったのではないのでしょうか。

午後2時、井戸尚美東京合同支部女性委員長の司会、衣川みか近畿合同支部女性委員長の進行により大会がスタート。米澤弘美北海道合同支部女性委員長の指揮・先導により協励会歌・協励十訓を斉唱・唱和しました。

次に佐野智会長は挨拶で、今年元日に起こった令和6年能登半島地震に続き今夏の奥能登豪雨で被災された石川県の会員を心配され、お見舞いの言葉を述べられた後、復旧への支援を呼びかけられました。そして対面開催が実現した今大会へのお祝いの言葉をいただきました。続いて私が全国女性委員長としてこの日を迎えられたことへの感謝を述べさせていただきました。

午後2時30分からの特別講演は「雑談接客で売り上げ5倍～テクニックよりも大切なもの～」と題して、(株)グローバルゲンテン代表取締役の茂木久美子先生にお話をいただきました。

茂木先生は山形新幹線「つばさ」の車内販売員時代に、山形-東京1往復半で当時平均約7万円の売り上げ

のなか、約53万円の売り上げを記録。さらに史上最年少でチーフインストラクターに就き、1,300名の販売員の育成に当たられ、後に新庄-東京片道で約54万円の売り上げも記録されました。

「150kgのワゴンを笑いながら押すのは難しい。さらにワゴンを見てもらえる瞬間は1秒くらい」という過酷な条件下で販売実績をあげられる秘訣は、「お客さまを観察し、次の行動を予想すること」。参考として買わなかったお客さまの映像が紹介されました。

新人のころにはいろいろな失敗もされながら、「クレームをどんどんもらって来い。受け止めてやる」という上司との出会いが、恐れず挑戦する茂木先生を大きく後押しし飛躍につながったとのことでした。また強調されたのが、協力会社=仕入れ先との結びつきでした。協力会社の工場見学をして商品への思いを受け止めることが、販売側の責務であると考えられたことは、私たち協励会の「三位一体」とまったく同じだと感じました。

勤務中には、何十年と続いた出稼



聴講する参加者



司会 井戸尚美東京合同支部女性委員長
進行 衣川みか近畿合同支部女性委員長



協励会歌・協励十訓
米澤弘美北海道合同支部
女性委員長



挨拶 佐野智会長



挨拶
澁谷知栄子全国女性委員長



来賓祝辞
日邦薬品工業(株)
中田雅之代表取締役社長



特別講演
茂木久美子先生



体験学習
吉田智人先生



体験学習 サポート
有賀美和新東海合同支部女性委員長
森雅子中国合同支部女性委員長



参加者全員で介護ゼロ体操を体験



お礼のことば
笹谷則之副会長



手話を交えて協励ソング「またの日を」を斉唱



展示

展示

ぎが終了した高齢男性とのエピソード、昼食時間でも夕食時間でもない時間帯に、「お弁当をお土産に!」という新しい発想で何十個も車内販売する着眼点、そして売り切る販売力など、多彩な講演内容のなかにはどれも示唆に富んだ実体験があり、心を揺さぶられました。

協励薬局の先輩先生方が歩んで来られた道と通じるお話に多くの会員が心を打たれ、エンディングで流れた映像にも温かい涙を流されるなか、1時間半の特別講演は大きな拍手とともに終了しました。

休憩を挟んでからの体験学習は、大阪北・メロディ薬店の吉田智人先生による『介護ゼロ体操』で先生とお客様の健康寿命を延ばす! ~選定品とフレイル対策の相乗効果~が行われ、有賀美和新東海合同支部女性委

員長と森雅子中国合同支部女性委員長が壇上でサポート役を務めました。

一つ目の体験は「世界一地味で有効な体操」ということで、会員が60秒ずつ左右の足で立ちました。初めは「こんなものが?」と思いましたが、想像以上にきつく、大腿骨^{だいたい}に対する負荷は片足立ち1分間で歩行約53分間。これを1日2~3セットを目安に行うことで、片足で立つ時間の長さ^{長さ}と歩行の安全が比例していくそうです。

二つ目の体験はスクワット。膝が出ないように腰を後ろに引くのが正解で、椅子からの立ち座りに必要な筋力をつける体操でした。膝が出るスクワットは膝を傷めるため要注意だそうです。

筋力は筋肉量+筋出力であり、筋出力を増やす介護ゼロ体操は筋肉の動かし方を思い出させるので負荷が小

さく簡単にでき、日常の動きに変化が現れます。懸命に取り組んだ後に隣の会員同士で行った「ロコモ度チェック」では、ペアになった先生におすすめの選定品を記入し合いました。

吉田先生は「筋肉・筋力・フレイル・ロコモティブシンドロームなどを周知していただくことが、先生・スタッフ、お客さまの健康寿命延伸に寄与する一端となると話されたほか、「商学一致を目指す=筋肉トライアングル提案」という狙いのもと、「国が後押しする成長市場=運動カテゴリーで、ジムや整体整骨院に負けないようにご自身とお客さまの健康寿命を延ばして、店舗が繁栄する道を目指しましょう」と強く語りかけられました。

続いて笹谷則之副会長から会員へのお礼の言葉とともに、4年後の女性全国大会への思いが述べられました。



司会 青木邦子関東甲信越合同支部女性委員長
進行 原口慶子九州合同支部女性委員長



挨拶 佐野智会長



歓迎のことば
新関多津弥東北合同支部長



歓迎のことば
野口礼子東北合同支部
女性委員長



乾杯 ご発声
澁谷知栄子全国女性委員長



アトラクションサポート
高村郁恵愛知合同支部
女性委員長



アトラクションサポート
大西美恵子四国合同支部
女性委員長



伊達武将隊 伊達政宗公



抽選会当選者



閉会のことば
小西弘晃常任理事



女性委員長の先生方



ハッピー隊の先生方

最後に協励ソング「またの日を」を手話とともに斉唱しました。第19回女性全国大会 in 横浜の体験学習で故野入尊子先生から学んだ手話を、全国の女性委員長と女性部長を中心に八田三紀常任理事指導のもと、6月から準備、練習を実施。「これからも手話による斉唱を継続していきたい」と酒井和子大阪合同支部女性委員長の言葉を受け、音楽に合わせて会場全体が気持ちを一つにして斉唱しました。

懇親夕食会は合同支部ごとにテーブルが設けられ、青木邦子関東甲信越合同支部女性委員長による司会、原口慶子九州合同支部女性委員長による進行、野口礼子東北合同支部女性委員長による歓迎の言葉で開会。すばらしいフルコース料理をいただきました。

東北合同支部の「ハッピー隊」の先生方には、大会の準備から、お土産の選定、地図の作成、チラシの入手など多くのサポートをいただいたほか、当日は懇親夕食会でも気配り心配りをいただきました。改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

会食中の「伊達政宗公」によるテーブルごとの写真撮影は大盛り上がり。高村郁恵愛知合同支部女性委員長と大西美恵子四国合同支部女性委員長のサポートのなか、抽選会で次々と東北名物が提供され、新関多津弥東北合同支部長賞と野口礼子東北女性委員長賞もサプライズで加わり、最後は野口女性委員長のすてきな東北弁で締めくくりとなりました。

そして小西弘晃常任理事から温かいお言葉と拍手をいただき、閉会となりました。

翌日はお楽しみのオプションルツアーが行われ、参加者の60名は2台のバスに分乗して松島海岸エリアで遊覧船上船、散策、お買い物を楽しみました。笹かまぼこのお店で試食をし、おいしさに驚き思わず購入し、「試食・試飲は大事ね」との言葉が飛び交い、昼食は牛タンとカキフライの豪華弁当に舌鼓を打ちました。

離れがたい気持ちを残しながら、JR仙台駅でお別れをしましたが、皆さまから「とても楽しかった。すばらしい大会でした」とのお言葉をいただいたことがたいへんありがたく、この場をお借りしてご参加くださった全国の先生方にお礼を申しあげるとともに、運営に関わったすべての先生方と協会事務局の皆さまにもお礼いたします。

(レポーター 全国女性委員長 澁谷知栄子)